

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

社名	株式会社オカムラ	都道府県	神奈川県
業種	製造業	従業員数	4,453人
事業概要	スチール家具全般の製造・販売、産業機械その他の製造・販売、金属製建具取付工事の請負、建築業に関わる付帯工事・設計・製造・販売、商品陳列機器その他の製造・販売、各種セキュリティ機器に関わる付帯工事・設計・販売、各種医療機器その他の機械器具の設計、製造ならびに販売、事務所の環境向上と事務・生産効率向上に関する情報の提供とこれに関連する機器の製造・販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク担当部署	人事部 ダイバーシティ推進室
テレワーク対象者	1,978人
実施者数	1,978人
実施日数	週3-4回

テレワークの導入・拡大の経緯

2015年より毎年テレワークデイに参画。
2016年11月よりプロジェクトにて在宅勤務のトライアルを実施し、2017年6月より育児・介護者を対象に在宅勤務制度を導入

テレワークの概要・特徴

- ・全ての事業所でテレワークを実施できるインフラと環境整備を進めサテライトオフィスとして使用することで、業務効率の向上を図っている。
- ・育児、介護をおこなっている社員には月4回(週1日)の在宅勤務を導入し実施中。※在宅勤務の特徴として、5時～22時の間で中抜けができる。
- 必要に応じて特例対応も認めている。将来的には全社員が働き方の一つとして選択できるよう検討していく。
- ・マイクロソフト社のOffice365を導入し、teamsやSkypeの活用を進めテレワークをより効率よく実施できる環境を整備している。
- ・マネジメント層が率先してテレワークを活用し、効率的に働き、部下の効率的な働き方への意識を高めている。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ◆両立支援(在宅勤務制度を導入したことで、育休後に復職してから柔軟な働き方ができるようになり、両立と時間効率と生産性向上に繋がっている。)
- ◆集中・効率・仕事消化率向上
(通常は短時間勤務でも、在宅利用時はフルタイムで働くことができる。)
- ◆リクルート採用時の意識づけ(在宅勤務等を利用することで仕事と家庭の両立をおこなっている社員実績をアピールすることで、リクルートの説明会での反応や、内定前の座談会でも周知、内定への意識づけになっている。)
- ◆離職防止(これまで有給取得をせざるを得なかったが、育児・介護との両立ができることで、テレワークを活用し、休むことなく業務を遂行でき、業務と育児・介護と効率的な両立が可能になり生産性の向上につながっている。在宅導入により介護と育児と仕事を両立できることで、会社を辞めずに済む)※育児休職から復職する女性100%
- ◆モチベーション向上(フレックス制度を見直し、コアタイムをなくしたことで、より柔軟な働き方ができるようになり、有休休暇の日数確保ができモチベーション向上に繋がっている。)
- ◆移動時間の削減(直行直帰、他拠点利用、在宅、サテライト利用により、時間の無駄を省くことができ効率良い。またICTツールを利用し、遠隔でもオフィスにいるのと変わらずに働けている。)
- ◆ワークライフバランス・両立
(男性の育児休職取得者がこれまでは0だったが7月より1名取得中)
- ◆テレワークデイズのアンケート結果より①集中して作業できる。②作業効率が向上する。③肉体的疲労が軽減する。④精神的疲労が軽減する。という点が上位であった。
- ◆意識改革(約6割の社員が、今後積極的に利用していきたい意向である。)